

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	消防署出張所等整備事業		
事業担当	消防本部 消防総務課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安 全〉 災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、職員	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
消防活動の拠点である消防署出張所や消防訓練施設などを整備し、市民の生命・財産を様々な災害から守るための消防力を充実させます。		消防活動拠点の充実のため、老朽化の著しい消防署出張所等を整備します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	消防署出張所等整備進捗率(大野)				単位	%
	説明・算定式	H22:建設20%、H23:建設40%、H24:建設40%(平成24年度のみ)					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標			100			
	実績		100				
成果指標②	指標名	消防署出張所等解体・整備進捗率(神田)				単位	%
	説明・算定式	平成28年度の建設完了を100%とした進捗率。H25:地質調査10%、H26:基本・実施設計30%、H27:解体・建設30%、H28:建設30%(平成25年度から)					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標				10		
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
大野出張所及び消防訓練施設の建設工事を完了し、開所式を行い運用を開始しました。							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	消防活動の拠点の充実のため、老朽化の著しい消防庁舎を順次整備する必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等の災害対応が充実します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等による庁舎への被害を防ぐ事が可能となります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	庁舎建設を整備するにあたり、将来性及び地域性を考慮する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		消防庁舎を整備するにあたり、関係法令を確認し必要な調査をしっかりと行います。また、基本設計の段階で、先進事例を調査研究し職員の意見も積極的に取り入れる必要があります。 さらに、太陽光発電設備や省エネルギー設備等を取り入れ環境に配慮した庁舎の建設に取り組む必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		建設:大野	建設:大野	建設:大野	地質調査:神田
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	35,000	105,000	217,000	0
	その他 特財	0	13,706	4,000	0
	一般財源	16,910	24,394	92,932	1,250
事業費 (A)		51,910	143,100	313,932	1,250
執行率 (%)		59.71	91.67	99.48	
内訳	職員 (人)	0.75	0.65	1.00	1.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,195	5,268	8,015	7,948
フルコスト (A+B)		58,105	148,368	321,947	9,198

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	神田出張所建て替えに必要な地質調査に取組み、実施設計に向けた検討をします。
課長コメント	完成した庁舎を定期的にメンテナンスして維持管理を行い長寿命化をめざします。また、老朽化した神田出張所の設計を実施し、付近住民への説明を行って理解を得られるように事業を進めます。 耐震性が危惧される老朽化した消防庁舎を計画的に整備して大震災時にも消防力を維持出来るよう計画的に整備していきます。